

9/19

新たなサービス産業の確立を目指して

天

村地域協働協議会(まち・ひと・しごと)の第1回目の会議が、市役所で行われました。

これは、地方創生先行型事業として取り組む「健康スポーツサービス産業創出事業」を、官民一体となつて推進するために発足したものです。

会議では、本事業の説明が行われた後、各分野で活躍されているアドバイザーなど意見交換を行いました。今後も定期的に開催し、全国に先駆けた新たなサービス産業の確立と雇用の創出に向けて取り組んでいきます。

大村地域協働協議会(まち・ひと・しごと)



9/23

交通安全を呼びかける

秋

の全国交通安全運動に合わせ、シート「命を守る交通安全大会」が行われました。

大会では、交通死亡事故を起こした経験を持つ加害者の立場からの講演や、コンサートなどが行われ、命の尊さや交通マナーの徹底を訴えました。約200人の来場者は真剣に耳を傾け、命の大切さを感じ、改めて交通安全に対する意識を向上させました。県内でも高齢者の死亡事故が多発しています。交通安全を心がけましょう。

命を守る交通安全大会



9/24

外国人観光客でにぎわう

大

村ポートレール場や市内の観光施設などへの訪日外国人の誘客を図るため、県内最大規模の外国人観光客向け免税店「JTC大村免税店」が大村ポートレール場の敷地内にオープンしました。

店内には、日本製にこだわった商品がずらり。屋外には市の特産品も並べられ、初日は約2,600人の買い物客でにぎわいました。店舗は鉄骨平屋で、売り場面積は約843平方メートル。ポートレール場に免税店を併設したのは全国で初めてで、当面、長崎港にクルーズ船が寄港した日のみ営業されます。

ポートレール大村に免税店オープン



9/30

工事中の安全を祈願

九

州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の「大村車両基地路盤工事」を着工するにあたり、安全祈願が竹松町で開催されました。

式には、小野副市長をはじめ、地元選出の県議会議員や市議会議員、地元関係者など約120人が出席し、工事の安全を祈願しました。大村車両基地は、敷地面積11万平方メートルで、全国初のフリーゲージトレインの車両基地となります。路盤工事は平成30年までで、その後、新幹線車両の整備などをする施設が建設されます。

九州新幹線大村車両基地路盤工事安全祈願



第五次行政改革の実績を報告します

市

では平成23年度から27年度までの5年間を計画期間として、第五次行政改革に取り組んでいます。

4年目の平成26年度は、市税などの収納率の向上や、未利用公有地の売却・有償貸付に努めたことなどにより、当初目標額に対し、約3.2倍の約5億8,700万円の効果額となりました。

今後も、ごみの減量化への取り組みなど、市民の皆さんのご協力をお願いしながら、引き続き目標達成に向けて取り組んでいきます。※実績報告書は、各住民センターに配置しているほか、市ホームページでもご覧いただけます。

第五次行政改革平成26年度実績報告

【平成26年度の目標効果額達成状況】

第五次行政改革の基本目標	効果額(千円)	
	目標額	実績額
1.健全な財政運営	212,752	618,777
2.行政経営システムの確立	▲31,293	▲32,285
3.市民との協働型市政の推進	469	488
4.組織力職員力の向上	-	-
合計	181,928	586,980